

CNESビオトープにおける生物多様性評価

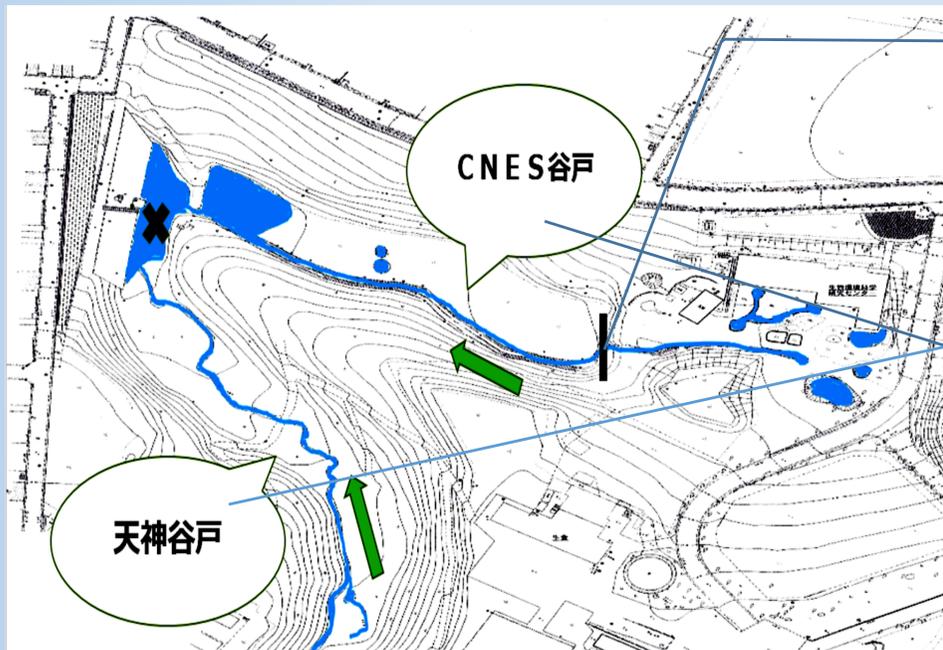
地域環境保全学研究室

○11108004 熱方 峻 ○11108109 日吉 貴平

背景

- ・谷戸と呼ばれる丘陵地においては、豊かな生態系を保有し、子供達の環境教育の場として活用されてきた。
- ・宅地開発により、都市部の自然が喪失されつつある中、郊外においても、その影響は広がってきている。

目的



CNES施工により、水路が分断され上流と下流の生物の行き来ができない

新しい水路を施工する計画がある

両方の谷戸の現状の水環境
生物環境の把握



CNES谷戸

天神谷戸

調査方法

□昆虫類

- ・スウィーピング法 ・ビーディング法
- ・ベイトトラップ法 ・ライトトラップ法

□鳥類

- ・ラインセンサス法
- ・ポイントセンサス法
- ・テリトリーマッピング法

□水生生物

- ・受け網を下流側に置き、上流側約1㎡の川底をかきまぜ、流れてくる生物を受け網で受ける。

※水質調査

汚濁指数法を用いて生物指標種から水質を調査する。

□哺乳類

- ・自動調査カメラを設置し、観測

□植生

[期間]

6月6日、6月26日、6月27日、6月30日に実施

[方法]

ブラウン-ランケの植物社会学的方法

- ・序列化(対応分析・主成分分析)
- ・グループ分け(クラスタリング・指標種分析)

[調査項目]

データ解析
・乗算優占度
・被度
・群度
・高さ

被度 × 高さ

・相対優占度

$$[h] \text{ 相対高さ} = \frac{\text{ある種の高さ}}{\text{高さ合計}} \times 100(\%)$$

$$[c] \text{ 相対被度} = \frac{\text{ある種の被度}}{\text{被度の合計}} \times 100(\%)$$

$$\frac{c + h}{2}$$

今後の予定

	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
植生							
昆虫類							
鳥類							
水生生物							
哺乳類							

※1~2月これらの結果をもとに右図のような食物網図を作成

